

まずは **キホ** から

涼しいお部屋づくりのポイントは、 「風の通り道」を考えること。

犬は湿気に弱い動物。ジメジメした空気は大変なストレスとなります。お部屋の空気の循環や風通しを考えて、そよそよ風を感じられるような、気持ちの良い環境にしてあげてください。

愛犬の目線に立って、快適なおうちにしましょう



金巻とも子先生に
アドバイスをいただきました！
一級建築士、愛玩動物飼養管理士。
ペットとの暮らしをテーマにした建築コーディネーターとして活動。建築士でありながら、主婦、一飼い主として、家族全員が健康に暮らせる家創りや住まい方を提案する。著書に「犬・猫の気持ちで住まいの工夫」(彰国社)

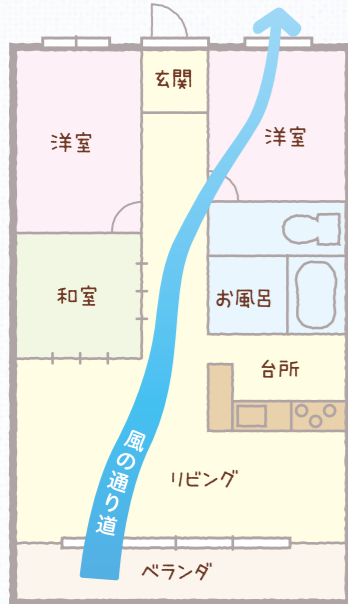
そよ風が涼しいな



4～5月
エアコンを
使う前の季節は

できるだけ風を通して涼をとりましょう。
窓は**対角線上**に開けるのがコツ。

冷房を使うほどでもないこの季節には、冬の間たまった湿気やハウスダストを掃き出してしまうでしょう。空気清浄機より、窓を開けておうち全体に風を通すのが一番。お部屋のニオイ対策にもなります。



平面の対角線

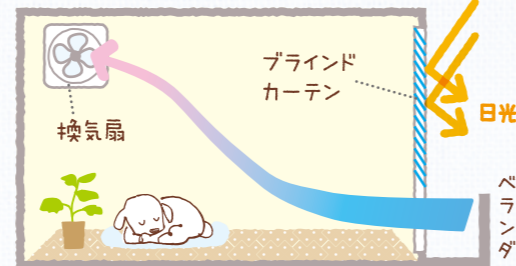
風が通り抜けるように
窓を開けます。

対角線上にある窓を開けて通します。家の中全体にまんべんなく風を通すことで、熱がこもらないので室内の気温が上がりにくくなります。

低い所から高い所への対角線

冷たい空気を下から入れ、上へ逃がす。

冷たい空気を取り入れたいなら、ブラインドなどで日光を避けながら、窓の下部分から入ってくるようにすれば効率的。お部屋で温まった空気は上昇するので、換気扇から外へ逃がすのがいいでしょう。



*換気扇をつける時は、必ず窓を開けて。
キッチンの換気扇などで一方的に排気が行なわれると、お部屋の中が真空の状態に近づき、収納の扉が急に開くなど事故につながることも。

風が通っているか、
愛犬の目線でチェック。

愛犬が生活しているのは、人より低い目線。家具などが障害になり、愛犬がいる場所は空気がこもって暑い、なんてことがないよう、しゃがんで確認してあげてください。

ワンポイント

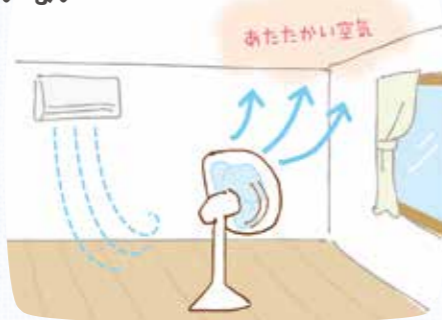
6月以降
エアコンを
使う時は

扇風機をうまく使えば、体感温度が下がり、
より涼しく感じます。

エアコンの設定温度が高めでも、扇風機で風を動かせばこもった空気が散っていき、空気が冷えやすくなります。

扇風機は、空気が動いていない
空間へ向かって。

例えばエアコンとは反対側の天井のシミなどに向かって風を送ることで、空気が動きます。部屋全体がまんべんなく冷えるので、体感温度がかなり変わります。



気持ちよくて
眠っちゃった



ワンポイント

犬が暮らしやすい適温は25℃前後。
でも冷やしすぎは禁物。

お散歩時、外との温度差が激しいと体へ負担がかかり、免疫力が下がって夏バテの元になります。できれば外気温との差は4℃前後にしたいところです。そのためにも、扇風機をうまく活用しましょう。



OK!

熱中症・夏バテにさせない!

ちょっとした工夫で

涼しくて快適な お部屋づくり

5月にもなれば日差しがきつく、暑い日も増えます。連日の暑さや湿気は愛犬の体調不良の元。この季節を快適に過ごすためちょっとした工夫をしてみませんか？



ところで
熱中症って？

「高温」「多湿」が原因で、体温調節ができなくなる症状です。

犬はほとんど汗をかかず、舌を出して熱い息を吐き出すことによって体温を下げます。気温や湿度が高いと熱を放散しにくく、体温が急激に上がって体が機能不全を起こしてしまいます。症状が進めば命の危険も。



特に短頭種の熱中症による
来院が多いですね。

ロッキー動物病院院長 蔵所先生

バグなどは鼻の穴が狭く、無理な呼吸により軟口蓋が伸びてしまうと、気道が狭くなって体の熱を放出できなくなるんです。より気をつけてあげてください。

こんな子も
注意! 北方原産の犬・高齢犬・子犬・肥満の子・足の短い子・心臓や呼吸器系の病気を持つ子

＼気をつけなきゃ!／



熱中症になりやすいのはこんな時!

- ① 4～6月の気温や湿度が急に上がり始める時季人はそれほど暑さを感じなくても、犬にとってはもう暑いんです。
- ② 風通しの悪い、閉め切った部屋風通しが悪いと空気が循環せず、犬の寝床だけ湿気がたまって暑いという場合も。

症状などはP.7へ

ちなみに
夏バテは…

毎日の不快な暑さや湿気により、
体がだるくなったり食欲不振になることも。
バテた状態が続くと、体力が落ちて病気にかかりやすくなるので、しっかり予防してあげてください。

夏バテで、食欲がなくなっていました。

原因として思い当たるのは、なるべく冷房をかけず扇風機を使っていたこと、お出かけ時に暑さ対策が足りなかったこと、あまり水を飲まなかったことなど…。食べやすいウェットフードを中心に、蒸して冷やしたササミをあげたりして、食欲を戻すようにしました。クッキー(トイプードル) 飼い主:富田さん



金巻先生に聞いてみました!

できるだけ省エネで夏を過ごしたい。
エコな暑さ対策ってありますか?



ぜひ、家の外側に工夫をしてみてください!

室内の気温は、実は外気にとても影響されるんです。壁や窓が日光で温められ、その熱が伝わって室内が高くなります。外からの熱気をブロックすることで、お部屋が温まりにくくなり、エアコンの温度設定が高めでも室内を涼しく保てます。

すだれや植物を使って、熱気を窓際でブロック!

窓の外にすだれや植物を置くことで直射日光を遮り、また窓との間に空気の層をつくれます。そうすることでお部屋が温まりにくくなり、エアコンの温度設定が高めでも室内を涼しく保てます。



窓を開ければ風が通る上に、風流♪

ベランダの照り返しは、植木鉢で防げる。

ベランダに植木やすのこを置いて照り返しを防ぐだけでも、気温は変わります。



“緑のカーテン”を育てました!

直射日光のすごい南側のベランダに、ゴーヤやヘチマを植えました。窓を開ければ風も通るし、カーテンと違って室内も明るくなるのでよかったです! 実を収穫するのも楽しかったです!



はる(MIX)、オクト(チワワ) 飼い主:高橋さん

お庭を掃除するだけでも暑さ対策になる!

生い茂った庭木や、壁に立てかけた簾などを片付けることで風通しがよくなり、お部屋も涼しく。



家の中には、自由に涼める居場所を。

愛犬は「暑い」と感じたら涼しい場所を探そうとしますよね。自由に涼める場所を用意してあげて、愛犬が自分で快適な環境を選べるのが理想です。

クールマットを敷いてあげる。

犬は体毛の薄いお腹を冷やして体温を下げます。クールマットをいくつか置いてあげると、暑くなった時に涼むことができます。



クールマットはP.14へ

凍らせたペットボトルで即席専用クーラー。

ペットボトルに水を入れて凍らせ、クレートなどの上に置いてあげれば、愛犬専用のクーラーの完成! 冷えすぎ防止のため、自由に出入りできるようにしてあげて。



\\ 知ってましたか? /

窓際はフローリングよりカーペットの方が涼しい。

フローリングは直射日光が当たると熱々に、45℃近くまで上がることも! カーペットは中に空気の層があるため、温度に左右されにくいんです。



金巻先生より

もしも、お留守番中に停電になったら…

エアコンに頼りすぎていると、災害などの影響で停電になってしまった時、愛犬は暑い部屋にひとりぼっち…。普段からエアコン以外の暑さ対策をあわせて行っておくことが、もしもの時の安心につながります。



年中・夏バテにさせない! ちょっとの工夫で涼しくて快適なお部屋づくり

愛犬の暑さ対策は

涼しい場所へ移動できることと、いつでも水が飲めることが大切。

ハウスの場所

窓からは離してあげて。冷風が直接当たらない場所が◎。

窓のそばは気温が上がりやすい!

カーテンをしていても、日光で熱された窓を伝わり温かい空気は室内に入ってきます。特に日が入りやすい南側の窓からは、最低1mは離してあげてほしいところ。また、壁にべったりつけないほうが風が通ります。



ハウスの置き場所 3ポイント

- ① 窓からは1m以上離す
- ② 冷風が直接当たらない
- ③ 入り口は落ち着かないので×



お留守番時は、できるだけ広い範囲で自由にさせてあげましょう。

狭いところに長時間居させると、暑くても逃げ場所がなくなってしまいます。特にクレートは熱がこもりやすいので注意が必要です。お部屋を自由にさせてあげられない場合は、十分な広さのサークルを用意。暑くなったら涼めて、冷えすぎず風がよけられるようにしてあげてください。お部屋を自由にさせる時は、事故防止のためゲートなどで安全対策を。



クレートとトイレが置いて、クレートと同じくらいの面積のフリースペースのある広さがベスト。

涼しい場所を選べるように、できるだけ自由にさせてあげます。

玄関だけは出ないようにしていますが、基本的に自由。涼しい場所が分かっているようで、午前中と夕方は玄関のタイルの上、日中は階段の下で寝ています。窓や戸を開けて風を通し、風の通り道をささげる物は置けません。こすけ(MIX) 飼い主:内本さん



ワンポイント

家の中に数カ所、サプの居場所をつくってあげる。

メインのハウスやサークルの他にも数カ所マットやベッドを置いてあげれば、愛犬が自分で涼しい場所を選んでくつろげるので、快適さがアップ!

水飲みの場所

いつでも飲めるよう、数カ所に。涼しい場所に置きましょう。

メインの水は寝床の近くに。他にも何カ所か置いてあげて。

犬は寝起きに水を飲むことが多いので、寝床の近くに置いてあげるといいです。あとはのどが乾いたときすぐ飲めるように、お部屋に数カ所用意してあげてください。



のどかあいたかも…



なまぬるいと飲んでもくれないことも。

「このお水、まずい!」と思ったら、飲んでくれないこともあります。温まってしまうと雑菌も増えやすくなるので、できるだけ涼しいところに置いて新鮮さを保って。

氷を入れてもらえると嬉しい♪

「お水を飲んでくれない…」という場合は、愛犬がお水の存在に気づいていない可能性も。氷を入れることで気づきやすくなり、冷たさアップでよりおいしく♪

*水の食べすぎ、冷水の飲み過ぎには注意してください。

ワンポイント